

有機フッ素化合物の追加調査結果について

1 概要

本年 10 月 7 日に、田万里川支川で実施した水質検査の結果、有機フッ素化合物（以下「PFOS 等」という。）が指針値を超過（130ng/L）した件を受け、周辺環境における影響範囲を把握するため、広島県や東広島市と連携し、追加の水質検査を実施しました。

その結果、市内の全 8 地点において、指針値を下回っていることを確認しました。

なお、東広島市域の 6 地点（田万里川支川 4 地点及び地下水 2 地点）のうち 1 地点（⑤田万里川支川）においては、PFOS 等が指針値を超過（200ng/L）していました。

2 検査結果

調査機関	採水日	採水地点※1	濃度（ng/L）			指針値
			PFOS 及び PFOA （合算値）※2	PFOS	PFOA	
竹原市 （竹原市域）	R7. 11. 26	地下水（竹原市域）	ND※3	ND	ND	50ng/L PFOS 及び PFOA の合算値
		地下水（竹原市域）	ND	ND	0. 1	
		地下水（竹原市域）	16	8. 0	8. 0	
		地下水（竹原市域）	6. 0	3. 0	3. 0	
県 竹原市 （竹原市域）	R7. 12. 8	①田万里川	1. 8	0. 5	1. 3	
		②田万里川	24	9. 3	15	
		③田万里川	12	3. 5	8. 9	
		④田万里川	16	5. 2	10	
県 東広島市 （東広島市域）	R7. 12. 8	⑤田万里川支川	200	54	150	
		⑥田万里川支川	7. 5	3. 2	4. 3	
		⑦田万里川支川	49	17	33	
		⑧田万里川支川	4. 8	0. 7	4. 1	
		地下水（東広島市域）	ND	ND	ND	
		地下水（東広島市域）	ND	ND	ND	

※1 地下水は井戸所有者にご協力いただき調査しているため、詳細な採水地点については公表を差し控えます。

※2 検査結果は有効数字 2 桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA の合算値」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しません。

※3 ND とは定量下限値未満のことをいいます。

3 今後の対応

- (1) 田万里川周辺の地下水で指針値を下回り、指針値を超過した水が飲用に供されている状況にないことを確認したものの、河川において指針値を超過していることから、国が定めた「PFOS 及び PFOA に関する対応の手引き 第2版」（令和6年11月環境省）に基づき、広島県及び東広島市と連携し、指針値を超過した河川水について定期的な水質検査を実施し、水質の推移を監視します。
- (2) なお、工場・事業場等からの PFOS 等の排出に関する規制は無く、法令に基づく検査や指導は実施できませんが、広島県及び東広島市において、周辺の工場・事業場等の稼働状況や PFOS 等の使用履歴の有無等を確認されることとなっています。

4 その他（農作物への影響）

農林水産省から「農業環境からコメ（玄米）への移行、備蓄に関する試験研究の結果、土壌中の PFOS 及び PFOA は、ほとんど玄米に移行、備蓄しない」旨が公表されています。

【農業環境からコメ（玄米）への移行、蓄積に関する試験研究の結果】

環境水の暫定目標値を超える PFOS 及び PFOA が検出されている河川から取水している水田において、土壌から玄米（主食用米）への PFAS の移行の程度を把握することを目的として試験研究を行いました。

その結果、玄米中の PFOS 及び PFOA 濃度は、定量下限値未満～20 ng/kg でした。水田土壌中の PFOS 及び PFOA 濃度を 1 とした場合の玄米中の濃度は、PFOS で 0.005 以下、PFOA で 0.004 以下であり、土壌中の PFOS 及び PFOA は、ほとんど玄米に移行、蓄積しないことがわかりました。

（出典：農林水産省ホームページより）

問い合わせ

市民福祉部 地域づくり課 生活環境係 担当：平本

T E L 0846-22-2279 F A X 0846-22-2280

○ 調査地点位置図

